

栃木県立小山北桜高等学校 食料環境科

2022年4月（令和4年度）新学科3年目を迎えます。

～食料生産や環境創生の分野で活躍できるスペシャリストを育てます～

学科の目標

食料の生産や環境の創生に関する基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、農業の経営や造園等の環境関連産業に従事できる実践的な能力と態度を育成する。

育てたい生徒像

- ・生命の大切さと自然の尊さを理解できる生徒。
- ・産業人としてのマナーを身につけ、組織の中で役割を自覚し周囲から信頼される生徒。
- ・正しい勤労観・職業観を身につけ、社会に貢献できる生徒。
- ・農業や食品、環境などの関連産業の仕事に真摯な姿勢と責任感を持って従事できる生徒。

学科の特色ある教育活動

食料環境科では、日頃の学習だけでなく校外・地域での実習や実体験を通した学習として、次のようなボランティア活動や地域貢献活動へ積極的に取り組んでいきます。

校外、地域での学習活動

キャリア形成支援事業

外部講師によるフラワーアレンジメントの講習や造園樹木の生産技術についての講習を行います。



インターンシップ事業

近隣農家やJA、市役所、企業等で就業体験活動（現場実習）を行います。

小山市内小・中学校の給食用食材提供

地産地消の推進を図るため、学校で栽培した農産物を給食用の食材として提供しています。



地域の環境保全に関するボランティア活動

渡良瀬遊水地に生育する外来植物の除去や絶滅危惧種保護活動に取り組んでいます。

また、足尾に緑を育てるための植樹活動、小山市内の河川堤防に植樹する市花「思川桜」の



繁殖と育成活動、地域の緑環境向上を目指した諸活動にも取り組んでいます。